

カナメの瓦風金属屋根材

耐用年数25%長く

建物屋根の販売や施工を手掛けるカナメ（宇都宮市）は20日、耐用年数を従来製品比で25%長くした瓦風の金属屋根材を発売する。新素材の鋼板を使うことで、酸性の雨・雪による腐食やさびに對する耐性を高めた。住宅のほか、神社や寺院など大型の建物への需要を見込む。インターネットを通じて全国に拡販し、他社による施工にも対応する。

新製品「SGL版カナ

メルーフ」は、従来のガ
ルバリウム鋼板にマグネ
シウムを添加することで
腐食への耐性を高めた新
素材「SGL」を使用し
た。粘土でできた瓦の形
状を模したデザインや、

瓦に比べて10分の1の1
平方メートルあたり約5キログラムと
いう軽さはそのままに、
耐用年数を従来製品の20
年から25年へと5年延ば
した。

瓦風金属屋根の従来製

品は、曹洞宗大本山の永平寺（福井県永平寺町）など大寺院にも採用されてきた。より性能を高めた新製品の投入で、需要をさらに掘り起こす。

従来製品は関東や東北などカナメが自社で施工する地域でのみ販売していた。新製品はネット経由で他地域の施工会社に卸売りし、販路を全国に広げる。